

# 「阪神高速 未来へのチャレンジプロジェクト」 第4回助成・事業実施報告書

## 1. 基本事項

団 体 名	一般社団法人 神戸みらい学習室		
事 業 名 称	様々な困難を抱える中学生への無料学習支援の運営と継続	助成額	50万円
申請事業の概要	経済事情など困難を抱える中学生を対象に、神戸市内 2 か所で開校している無料の学習支援を継続して行うとともに、全国の学習支援団体のネットワークを拡大し、支援の輪を広げる。		
申請事業の目的	<p>「すべての子どもが、等しく教育の機会を」を理念とし、親の価値観や家庭環境に関わらず全ての子ども達が自分の持てる能力を最大限に発揮出来る地域社会を実現できるよう活動をしています。それは単に偏差値の高い高校に進学することを目的とした進学塾ではなく、学校でもなく、無償なのに全力で寄り添い励まし支援してくれる教え方も上手く相性も合う不思議な大学生ボランティアのお兄さんお姉さんとの出会い（マッチング）、そして憧れ、生まれてはじめて勉強することの楽しさや意味を考えるような場所を地域に創っていきたい、との思いで申請事業を行っています。そして高校進学以降も、生涯勉強し続けることが出来る源泉を中学生の大切な時期に身に着けることを目的としております。</p> <p>また、継続運営する中で次々に浮かび上がってくる新たな課題にも挑戦して、そのノウハウや成果を行政や他団体にも展開できるよう協力のネットワークを広げ、広域に目的が達成できるような持続可能な仕組みの構築につながることも目指しています。</p>		
関連するSDGs 目標			

## 2. 助成事業の実績・成果等について

<p>1. 「無料学習支援」を継続実施</p> <p>(1) 時期：2025年1月～12月 毎週日曜日午後1時から午後5時、年間50回</p> <p>(2) 場所：神戸市2拠点 ①学園都市校（神戸市西区 神戸市外国語大学サテライト） ②住吉校（神戸市東灘区 東灘区文化センター）</p> <p>(3) 内容：経済事情など様々な困難を抱える中学生を対象に、 ①中学生と講師の特性に応じた最適マッチングを毎週行うとともに、②模試受験代の助成・保護者面談・小論文面接対策など、高校受験に向けて地域の大人達が全力で寄り添い伴走する学習支援を実施</p> <p>(4) 対象：中学生55名（学園都市校40名+住吉校16名）・卒業した高校生10名程度も受入れ。 属性：経済事情8割、発達障害3割、不登校2割、重複3割</p> <p>(5) 新たな取り組み 様々な問題を抱える中学生の学習意欲を向上させるために、講師と受講生のそれぞれの特性（希望性別、希望科目、性格、部活、趣味、保護者アンケート等）に応じて毎回ベストマッチングするシステム「最適マッチングシステム」の構築に取り組みました。このシステムは、生徒と講師の性格や得意科目、相性を独自のアルゴリズムで分析するもので、現在は東京大学マーケットデザインセンターの監修を受けて(株)テラアクション(AI開発企業)と共同で多機能のマッチングアプリの開発を進めています。</p>	
---	---

## 2. 「夢ゼミ」を継続実施

- (1) 時期：2025年1月～12月 受験前を除く10回程度、日曜日午後4時から30分
- (2) 場所：学園都市校（神戸市西区 神戸市外国語大学サテライト）、  
住吉校（神戸市東灘区 文化センター会議室）
- (3) 内容：大学生講師が高校や大学生活を通じて勉強する意味をプレゼンする
- (4) 対象者：学習支援に参加している中高生55名、保護者（希望者）約10名

## 3. 全国学習支援シンポジウムの開催と市内団体の研修

- (1) 時期：2025年9月14日（日）13:00～17:00
- (2) 場所：アンカー神戸（神戸市中央区加納町4-2-1 神戸三宮阪急ビル15F）
- (3) 参加者：153名（全国の学習支援団体、自治体、学校関係、企業など）
- (4) 目的：学習支援の現状や課題を共有し、活動団体のネットワークを結ぶことで、より良い学びの場づくりを目指す
- (5) 内容：4名の著名な専門家による基調講演、パネルディスカッション、グループディスカッションを通じて、専門的な知見と現場の実践が融合する貴重な機会に。参加者同士の対話を通じてネットワークを構築し、全国各地の学習支援をより良くしていくという目的を果たすことができました。また、シンポジウムに向け、市内各団体が毎月集まって課題事例の共有などの研究を行ってまいりました。



## 3. 課題分析や今後の発展性

神戸市の調査(2021年)では、中学2年生の7人に1人が相対的貧困の状態にあり、当学習室の受講生は年々増加しています。特に近年は不登校や発達特性を持つ中学生が増加しており、支援の困難度からマンツーマンでの対応に必要な数の講師を確保する必要があり、ボランティア講師への謝金を継続的に賄うための資金調達が課題となっています。

また、複雑な課題を抱える中学生の学習意欲を継続させ、学習室に通ってもらうためには、単なる教科指導にとどまらず、「誰が横に座って教えるか」という講師との相性が、生徒の出席率と意欲向上に極めて重要であることから、現在、独自のアルゴリズムを用いた「最適マッチングアプリ」を開発しております。本年2月より神戸大学大学院経済学研究科と共同契約を締結してマッチングの効果検証を行うこととなりましたが、今後は、事務負担の軽減とともに、将来的には、このシステムを無償で全国の学習支援団体へ展開することで、地域型学習支援の拡大、質の底上げを目指します。

さらに、本年9月の部活の地域移行に伴い、夢ゼミとは別にキャリアデザイン講座を実施して学校との連携を強化します。こうした取り組みを全国の学習支援団体と共有するため、全国規模の研修会を毎年神戸で開催し、発信してまいります。

## 4. 代表者又は担当者からのひとこと

私たちは、「すべての子どもに、等しく教育の機会を」という理念を掲げ、家庭環境に関わらず子どもたちが能力を最大限に発揮できる社会を目指しています。当活動の主役は、勉強を教えるだけでなく、子どもたちの良きロールモデルとなって全力で寄り添う大学生ボランティアのお兄さん・お姉さんたちです。彼らとの出会いを通じ、子どもたちが生まれて初めて「勉強する楽しさ」や「将来の夢」を見出していく姿こそが、私たちの活動の原動力です。

阪神高速道路株式会社様からの温かいご支援、具体的には講師への謝礼や全国学習支援シンポジウムや研修会の会場費などにより、安定的な教室運営および他団体とのネットワークの拡大を図ることができました。誠にありがとうございました。

支援を受けた卒業生が大学生講師として戻ってくる「支援の循環」を地域社会に定着させ、教育格差の解消に向けた持続可能な地域モデルとして、行政や他団体とのネットワークをさらに拡大してまいります。